

『科学のために』序言

石原 純

本書は、この数年来私の発表した論説のなかから科学に關したものを選んで集録したものである。もちろんこの数年の間には、我が国の当面する状況が早急に變転して來たので単に二、三年を隔てただけでも、現在から見れば既に不必要になりてゐる部分もないではないが、併しそれらにしても當時に於ける問題としては十分に意味をもっていたのにちがいないから、ここにその記録を存しておくのも無益ではないと考える。それで、各文の終りにはそれぞれの執筆年月を附記しておいたので、これらを参照されんことを望む次第である。現時に於ては、國際状況の緊迫と共に、漸く科学の重要性が一般に痛感せられるようになったのは、寧ろ当然であると言わなくてはならないが、このような時勢に於てさえもなお科学の眞の意味を正しく理解することなく、妙に之を歪曲して甚だしい誤謬に陥ろうとしてゐる人々がないではない。だが、之こそ科学振興のためには最も憂うべき事実でなければならぬのであつて、私は我が國に於けるすべての人々の科学への正しい理解を切実に要望して止まないものである。本書が、そのために幾分でもの役目を果すことができるならば甚だ幸いであると、私は考へてゐる。

昭和十六年一月

- 底本には、『科学のために』（科学主義工業社、一九四一（昭和十六）年一月二十五日）を使用した。
- 読みやすさのために適宜振り仮名を追加した。
- 旧漢字は新漢字に、旧かな使いは新かな使いに変更した。
- PDF化には`LATEX 2ε`でタイプセットを行い、`dvipdfmx`を使用した。

科学の古典文献を電子図書館「科学図書館」

<http://www.cam.hi-ho.ne.jp/munehiro/sciencelib.html>

に収録してあります。

「科学図書館」に新しく収録した文献の案内、その他「科学図書館」に関する意見などは、

「科学図書館掲示板」

<http://6325.teacup.com/munehiroumeda/bbs>

を御覧いただくか、書き込みください。